

大阪府トレセン U11・12 スタッフ研修会報告書

2015年 6月 8日

4種委員会技術部長

上野 二郎

○日程・会場・担当

6月8日(月)万博・大阪 FA グラウンドにて指導実践(スタッフ全員が担当する)

○テーマ

U11 スタッフが豊能トレセン U12 を指導・テーマ「ボールを奪う」

U12 スタッフが三島トレセン U12 を指導・テーマ「ゴールを奪う」

○インストラクター・研修の流れ

U11 担当インストラクター星原・U12 担当インストラクター上野

終了後に担当者のフィードバック・見学者(地区 TC スタッフ)の意見・質問・インストラクターのフィードバック。

○研修内容

セントラルトレセンスタッフが行うだけあって、デモンストレーションの有効活用・フリーズコーチング・シンクロコーチングの使い分けを行い、概ね良い実践であった。

ただし、「日常を変える」為にはより良い刺激を選手に与える必要がある。

目の前の子に合わせて・個別・具体的な指導・評価・アシスタントコーチの有効な関わり等いくつかのポイントを共有しました。スタッフには「より良くする為に。」という視点で前向きに受け止めてもらえたと思う。

良かった点としては、選手で実践したのでリアルだった。指導者を選手役にすると、どこかリアルでなかったり、緩くなったりすることがある。やはり選手で行うべきだと感じた。U11・12 スタッフは優秀な指導者であることは間違いないが、それゆえに逆に他の指導者から指摘を受ける機会は少ないと思う。知らず知らずについている癖や習慣を第三者の目で観て指摘される事は良い研修の場となったと思う。

反省点は、U11・U12 の指導者がお互いに同時間に半面で指導実践を行っているのでお互いの指導を観る事ができなかった事。限られた時間なので仕方がない部分もあるが、やはり人の実践を観るのも重要だと思うので、来年の改善ポイントとしたい。

またインストラクターも2人がそれぞれ違う物を観て評価しているので、それも複数のインストラクターが同じ物を観て、それぞれの視点で評価する事によって、より深める事ができると思う。終了後のディスカッションの時間ももう少し取りたい所である。

